

ま え が き

知事4期目の就任に当たり、私は、今任期を、私が進めてきた県政の「総仕上げ」の時と考え、二つの点を重視し、その実現に向けて全力投球して参りました。

その一つは、県政運営の指針である「やまぐち未来デザイン21」の総仕上げを果たすため、最終の実行計画、「住み良さ日本一の元気県づくり加速化プラン」に掲げた数値目標の達成を図ることであり、もう一つは、次の世代に過度の負担を先送りせず、持続可能な行財政基盤を築くため、「県政集中改革」において、確かな成果を上げることです。

平成24年度、加速化プランと県政集中改革がいよいよ最終年度を迎えるに当たり、私は、これまで積み重ねてきた取組みの成果を踏まえ、その上に立って、まさに総仕上げのラストスパートの予算として、当初予算を編成しました。そして、この予算の執行を通じ、さらにより多くの目標達成と、より高い達成水準の実現を目指し、全力で取り組んでいるところです。

そうした中で、私としては、当初予算編成や行財政改革等を通じ、県政の総仕上げに向けて、概ね満足できる成果や方向性を示すことができたものと考えています。

具体的には、加速化プランについては、ほぼ8割の数値目標に達成の見通しが立ち、また、県政集中改革においては、特に公社改革について、土地開発公社、道路公社、住宅供給公社の三公社を同時に廃止するという、全国でも例のない大きな改革を成し遂げることができました。

残った任期においても、総仕上げに向けた諸施策を確実に執行していくことで、私の知事としての役割を全うしたいと考えています。

さて、今回は、平成24年度当初予算と、平成23年度下期の財政状況及び公営企業の業務の状況につきまして、その概要を報告いたします。県民の皆様方の深いご理解とより一層のご協力をお願い申し上げます。

平成24年5月31日

山口県知事 二 井 関 成